

2004年12月15日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

選択的AT1受容体ブロッカー

ディオバン®錠160mg新発売**- 患者さんのコンプライアンスを高めた新規格製剤 -**

ノバルティス ファーマ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：通筋雅弘）は、12月15日から選択的AT1受容体ブロッカー「ディオバン®」（一般名：バルサルタン）の新たな高用量規格製剤として160mg錠を発売いたします。

「ディオバン®錠160mg」の効能・効果は、すでに発売されている同剤の他規格製剤と同じ高血圧症です。ディオバンの用法及び用量は、「通常、成人にはバルサルタンとして40～80mgを1日1回経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、1日最大160mgまで増量できる」ですが、2000年の発売以来、高血圧症の患者さんに広く処方され、最大用量の160mgまで増量される症例も多くなりました。その中で、高血圧症の患者さんからは、「服用する薬剤の数が多く、少しでもくすりの数を減らしたい」や、医療関係者からは、「ディオバンは増量による効果増大の割りに、副作用増加の経験がなく、患者さんのコンプライアンスが非常に良い」などの多くの意見をいただきました。このような皆さんの声を反映し、このたび高用量規格製剤である160mg錠を発売する運びとなりました。

ディオバン錠160mgの新発売は、患者さん一人ひとりの病態に応じた治療の選択肢を広げ、服薬コンプライアンスを向上し、生命予後改善の可能性を広げるでしょう。

ディオバンは、1989年にレニン・アンジオテンシン系の研究に初期から携わってきたノバルティス ファーマ社（スイス・バーゼル市、以下『ノバルティス』）が合成・開発した選択的AT1受容体ブロッカーです。1996年にドイツで発売されて以来、高血圧症の第一選択薬として世界90カ国以上で承認されています。

ノバルティスは、心疾患および高血圧症の患者さんを対象とした、世界規模の前例のない臨床試験を実施しています。ディオバンを対象とした心血管疾患の研究では、血圧コントロールを超えた多くの臓器保護作用(Beyond Blood Pressure Lowering Effect)を証明すべく、約5万人という、世界最大規模の臨床試験を実施しています。最近終了したディオバンの大規模臨床試験には、糖尿病、脳卒中の既往歴、および冠動脈疾患といった危険因子や心血管系合併症のあるハイリスク高血圧症患者を対象にしたVALUE、心筋梗塞後患者を対象にしたVALIANT、心不全患者を対象にしたVal-HeFTがあります。現在進行中の試験には、耐糖能異常（IGT）の患者さんを対象としたNAVIGATORと、心疾患の炎症マーカーであるCRP（C-Reactive protein）に対するディオバンの効果を調査するVal-MARCなどがあります。

選択的AT1受容体ブロッカー：アンジオテンシン受容体ブロッカー（ARB）の中でも、主に血圧上昇に関与しているAngiotensin Type1受容体を選択的にブロックする薬剤

